県かこ 兵庫県立加古川医療センター
地域医療連携ニュース
vol.91
2019年
6.7月号

発　行：兵庫県立加古川医療センター　〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地　http://www.kenkako.jp/
ＴＥＬ：079-497-7000(代表)　ＴＥＬ：079-497-7011(地域医療連携部直通)　ＦＡＸ：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- 地域医療連携会議の報告 …… 1
- 外来リニューアル …… 2
- 消化器外科 …… 3
- 循環器内科 …… 4
- 乳腺外科 …… 5
- 泌尿器科 …… 6
- 整形外科 …… 7
- 外来診療表 …… 8

第14回 地域医療連携会議を開催

第１部：講演と各診療科紹介

1．挨　拶　　**院長：原田 俊彦**

平成から令和へと新しい時代を迎え、加古川医療センターが 10 周年を迎えることと当センターの役割である５つの政策医療と地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携の重要性についてお話ししました。

2．「アトピー性皮膚炎治療のブレイクスルー
デュプリマブはアトピー性皮膚炎患者に何をもたらしたか？」
地域医療連携部長兼皮膚科部長：足立 厚子

アトピー性皮膚炎治療に対してデュプリマブは、患者さんの日常生活を過ごしやすくしたり症状の軽減に効果的という症例を紹介しました。

3．「直腸癌治療　Then and Now」　　**検査・放射線部長兼消化器外科部長：高瀬 至郎**

直腸癌における、手術や術前化学療法・放射線療法の成績について、本邦と欧米の違いや今後の展望をお話ししました。

4．「ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除の成績」　　**副院長兼泌尿器科部長：田中 宏和**

ロボット手術の適応や腎部分切除と腎臓全摘術の生存率など、腎がん手術の変遷と当センターのロボット手術件数の推移などをお話ししました。

5．各診療科紹介（14 診療科）

各診療科から、治療のアピールポイントや先生の紹介をさせていただきました。時間が少しオーバーしましたことをお詫びします。

第２部　意見交換会

加古川医師会長の中田先生と加古川健康福祉事務所長の今井先生にご挨拶・乾杯をいただき、和やかな雰囲気の中第２部が始まりました。日頃、お世話になっています地域の先生方、各関係者の皆様から大変貴重なお話をお伺いすることができました。

これからも、皆さま方と信頼関係を築き、地域の安心に貢献できるよう精進していきます

外来ゾーン改修工事が完了しました。

総務部経理課

平成 31 年１月から行っていました外来ゾーンの改修工事が平成 31 年３月 31 日に完了しました。

改修工事は、「患者さんの利便性の向上とプライバシーの確保」を目的に診察室の改修や相談室の設置、内視鏡センターリカバリー室の拡張、清潔エリアの設置、マンモグラフィー室の設置、採血室の空調機の増設を行いました。

写真１

写真２

写真３

写真４

具体的には、

①「整形外科」「脳神経外科」「サポーティブケア外来（緩和ケア外来）」「感染症内科」の診察室を改修し、「感染症内科」については、軽度な感染症患者用（陰圧室）としても利用できるようにしました。（写真１・２）

②ホスピタルゾーンに設置されていた相談室をプライバシーが確保できるようにＤゾーンに２室設置しました。（写真３・４）

③採血室において、冷房能力の容量不足によりご迷惑おかけしていたため、空調機を増設しました。（写真５）

④中央処置室に、他の患者さんからの感染防止のため、清潔エリアを設置するとともに、内視鏡室のリカバリー室を拡張しました。（写真６・７）

⑤これまで、マンモグラフィー装置と骨塩定量装置が同室に設置されていたため、検査が重複しても対応できるようマンモグラフィー室を新たに設置しました。（写８・９）

写真５

写真６

写真７

写真８

写真９

工事にあたっては、診察に影響が出ないよう平日 17 時 30 分以降及び土日祝日に行いましたが、約３ヵ月に及ぶ工事期間中には、騒音や振動など患者さんや来院の方をはじめ多くの方々にご不便とご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

また、工事にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。

今後とも、患者さんが使いやすい施設を目指して整備を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

外科・消化器外科

外科・消化器外科部長　**高瀬至郎**

当科では、食道から肛門までの消化管、肝・胆・膵・脾など実質臓器も含めた消化器外科を中心に診療しています。消化器外科領域以外では甲状腺、副甲状腺疾患、鼠径ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニアなども対象にしています。当院には癌治療専門の診療科がありませんが、消化器癌に関しては手術前後の補助化学療法を始め、進行再発癌の化学療法の多くも当科が担当しています。

治療方針につきましては、先ず、生命予後を最も重視し、各疾患の治療ガイドラインに則った標準治療を基本としています。その上で、低侵襲な手術法や機能温存を考えた手術法など、新しい治療法も吟味の上、積極的に取り入れています。

手術法として、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた鏡視下手術を積極的に採用しており、進行胃癌や大腸癌の困難症例を除けば、消化管と胆嚢手術やヘルニア手術はほぼ全例、鏡視下手術を施行しています。現在では、肝臓や膵臓など実質臓器に対しても症例を選んで鏡視下手術を取り入れています。また、消化器内科とも協力し、腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）も導入しています。

スタッフは６人で、５人の消化器外科医に、救急科専門医を加えた構成となっています。メンバーは、消化器外科医として十分な経験と各々に専門領域、得意分野を有しており、チームワークも大変良好です。

外来の体制としては、手術日の木曜日以外は２名にて対応しています。緊急時の要請や手術適応についてのご相談など、随時お受けできるよう柔軟な初診対応を心掛けています。術後のサーベイランス、外来化学療法もできる限り担っていきたいと思っています。

地域の中核病院として皆様のご期待に添えるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

地域医療機関の先生方へ

日頃より多くの患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。一方で、外来患者さんの待ち時間や手術までの待機日数などでご迷惑をおかけしておりました。最近では毎週順次１～２例の待機患者さんを臨時枠で手術することや、入院サポートセンターなど外来検査体制の整備によって、手術待機日数は、相当減少しています。今後とも円滑な運営を心掛けてまいりますので、ご紹介よろしくお願いいたします。

2018 年 手術症例数

	全体	鏡視下
甲状腺･副甲状腺	8	1
食道	8	5
胃･十二指腸	49	15
小腸	15	3
大腸(直腸)	12	10
大腸(結腸)	51	31
虫垂	13	11
肝臓	15	10
胆道(良性)	86	81
胆道(悪性)	4	0
膵･脾･十二指腸乳頭	8	0
肛門	6	0
ヘルニア	101	78
体表･その他	58	0

スタッフ紹介（平成 31 年 4 月 1 日現在）

高瀬　至郎（外科・消化器外科部長　H 元年卒）

日本外科学会専門医
日本がん治療認定医
近畿外科学会評議員
緩和ケア研修会修了
日本消化器外科学会認定医
消化器がん外科治療認定医
臨床研修指導医

衣笠　章一（外科・消化器外科部長　H4 年卒）

日本外科学会専門医・指導医
日本がん治療認定医
日本食道学会食道科認定医
臨床研修指導医
NST 医師
日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医
検診マンモグラフィ読影医
緩和ケア研修会修了
近畿外科学会評議員

小林　巌（外科・消化器外科部長　H10 年卒）

日本外科学会専門医

門馬　浩行（外科・消化器外科部長　H15 年卒）

日本外科学会専門医
日本がん治療認定医
日本乳癌学会認定医
緩和ケア研修会修了
NST 医師
日本消化器外科学会専門医
消化器がん外科治療認定医
検診マンモグラフィ読影医
臨床研修指導医

川嶋　太郎（救急科医長・外科兼務　H20 年卒）

日本外科学会専門医
緩和ケア研修会修了
NST 医師
日本救急医学会専門医
日本 DMAT 隊員

多田羅　敬（外科・消化器外科医長　H21 年卒）

日本外科学会専門医
緩和ケア研修会修了
検診マンモグラフィ読影医

＜非常勤医師＞

堀　宏成（外科　H10 年卒）

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化管学会胃腸科専門医･指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医
緩和ケア研修会修了

睡眠時無呼吸症候群について
－循環器内科－

睡眠時無呼吸症候群は交通事故や脳血管疾患・高血圧・糖尿病・心疾患、さらには頻尿などの頻度を高めるといわれています。

息が止まっていることが様々な影響をひきおこします。

気になる方がおられましたら、自宅でできる簡易検査から精密検査まで行っておりますのでご紹介ください。

検査結果により、陽圧換気だけでなく、マウスピース作成のための歯科や鼻閉等の確認のための耳鼻科受診もご紹介させていただいております。

陽圧換気の業者も固定しておりませんので、各種特性に合わせて患者さんに合うマスクや機種を選択し治療継続に向けて患者さんと一緒に頑張ってまいります。

← 簡易検査

精密検査 ↓

受診の流れ

アンケート・診察後
自宅で簡易検査

↓

結果説明　精密検査へ

↓

検査入院時　陽圧換気説明

↓

再診時結果説明
必要時は外来で治療開始

翌日返却可能なら、
当日ご自宅での簡易検査が
できることもあります

原則金曜日ですが要相談
16：00 に入院
朝は目が覚めたら退院！

導入後１度は確認で再受診。
以降はかかりつけ医で可能！

乳腺外科

現在乳腺外科は２名の常勤医師と、神戸大学乳腺外科教室よりの４名の応援医師の派遣をいただき運営しています。今後ともよろしくお願いします。

■ 当院の特色

乳がんの治療経過は長期にわたることが特徴です、当科では診断･治療･術後ケア（リンパ浮腫･ホルモン療法）･遺伝カウンセリング・再発後のサポーティブケアまで一貫して行う体制をとっています。医師のほかにも乳腺診療に必要な経験と資格を取得したスタッフが充実しています（がん看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、リンパ浮腫療法士、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、家族性腫瘍コーディネーター)。合併疾患の治療においても総合病院の利点を生かし、様々な診療科の協力を得て患者さんを支えています。

■ 外来診療

乳がんの診断・治療（手術・薬物療法・乳房再建）・フォローのほか、乳がんの検診（乳房に気になる症状のある方の検査、乳癌検診で要精査とされた方の検査)、乳腺の良性疾患（良性腫瘍・乳腺炎・乳輪下膿瘍など）の治療を行っています。

■ ブレストミーティング

乳がん患者の平均年齢は他のがんに比べ 10 歳以上若く、ホルモン療法などは長期にわたるため、医師（乳腺外科・緩和ケア内科）・看護師（病棟・外来・化学療法室・放射線科）・薬剤師が患者様・家族を支えていくために毎週ミーティングを行い、チームとして個々の患者さんがより良い治療を受けられるよう話し合っています。

■ 手術部門・乳房再建

術中迅速病理診断を駆使することで適正な乳房温存手術とセンチネルリンパ節生検を行っています。乳房再建術においては乳房再建用エキスパンダー・インプラント手術の実施施設認定をもち、形成外科とともに積極的に乳房再建に取り組んでいます。乳腺の良性腫瘍や乳輪下膿瘍に対する手術も行っています。

■ リンパ浮腫外来

乳がん手術の後遺症であるリンパ浮腫に対し､リンパ浮腫療法士（看護師）による複合的理学療法を週２日行っています（現在のところ自費診療)。通常の外来診療時にも適宜セルフケアの指導を行っています。

■ 遺伝カウンセリング

遺伝性乳癌に関する不安をお持ちの患者さんには家族性腫瘍コーディネーターとともに遺伝カウンセリングを行っています。乳がんの遺伝情報は今後の新規薬物の登場によりさらに重要な位置を占めてくると考えられます。

■ 乳がん患者会『虹の会』

毎月第４木曜日に患者会を開催しています。対象は乳がん患者さんとご家族で、同じ体験・悩みを持つ仲間同士が語り合い・学び・支え合う会を目指しています。当院に受診歴がなくても参加可能です。

■ 診療実績

年度			2018年
手術		局所麻酔手術	23
		全身麻酔手術	168
乳がん手術件数			155
進行期		0 期	24
		Ⅰ 期	71
		Ⅱ 期	41
		Ⅲ 期	15
		その他	4
術式内訳	乳房手術	乳房全切除	81 同時再建４例
		乳房温存	79
	腋窩手術	腋窩リンパ節郭清	26
		センチネルリンパ節生検(%)	109(81%)
		郭清なし	31

■ 学会認定教育施設

- 日本乳癌学会認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定乳房再建実施施設

■ スタッフ紹介

石川　泰（いしかわ・とおる）

部長（化学療法担当）兼 乳腺外科部長	乳腺外科 一般外科	昭和 59 年卒

日本外科学会専門医･指導医、日本乳癌学会専門医･指導医、日本がん治療認定医･暫定教育医、日本超音波医学会専門医、検診マンモグラフィ読影Ａ評価

小林　貴代（こばやし・たかよ）

乳腺外科医長	乳腺外科 一般外科	平成 12 年卒

日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定医、検診マンモグラフィ読影Ａ評価

ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の成績

副院長（診療支援担当）兼泌尿器科部長　**田中宏和**

腎癌に対する手術は、従来は対側の腎機能に問題がなければ、癌のある方の腎をすべて摘出する腎摘除術が、根治性の面から正しいとされていました。しかし、その後の研究で、小さな腎癌であれば、癌の部分のみを切除し腎を温存する腎部分切除術も、腎摘除術も、根治性においては変わらないことが示され、また、腎を摘出してしまうと、後に、慢性腎不全の発症が有意に高いことが示され、最近では、腎部分切除術が標準術式となっております。

2016年4月より、腫瘍径が7cm以下の腎癌（手術前のCTなどの画像上での診断であり、術後の病理検査で良性腫瘍と診断されることもあります）に対して、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術が保険適応となり、当科でも、2016年9月に開始し、図1に当科での腎部分切除術の変遷を示しますが、手術数、ロボット手術の割合も、ともに急増しております。今回は、2019年4月までに行った、47症例の治療成績を報告させていただきます。

患者さんの年齢は39歳から84歳、平均66歳。腫瘍の大きさは、直径9mmから51mm、平均28mmでした。手術時間は、平均で3時間23分、うち、ロボット使用時間は2時間13分でした。腎動脈を阻血した時間は平均で19分、出血量は30mlでした。術後の病理検査の結果は、腫瘍の組織型は、腎細胞癌が41例（87%）、良性腫瘍が6例（13%）、根治切除の目安となる断端陰性は46例（98%）で、良性腫瘍の1例で陽性でした。術後合併症は、仮性動脈瘤で動脈塞栓術を必要としたものが1例、ドレナージを必要とした血腫が1例にみられました。入院期間は、平均で12日でした。腎機能（e-GFR）の低下に関しましては、図2に示すように、術後1ヵ月で術前の91%、3ヵ月で92%、6ヵ月で91%、12ヵ月で85%と、良好な成績でした。観察期間は1～30ヵ月、平均10ヵ月で、再発症例は認めませんでした。

腎部分切除術は、腫瘍の場所により、難易度が異なります。腫瘍が腎の中に埋没しているような症例（図3）は、腫瘍が見えないため、術前のイメージ構築と、術中のエコーのみがたよりです。今後も、このような難易度が高い症例も含めて、より精度の高いロボット支援手術を行っていきたいと考えております。

図1

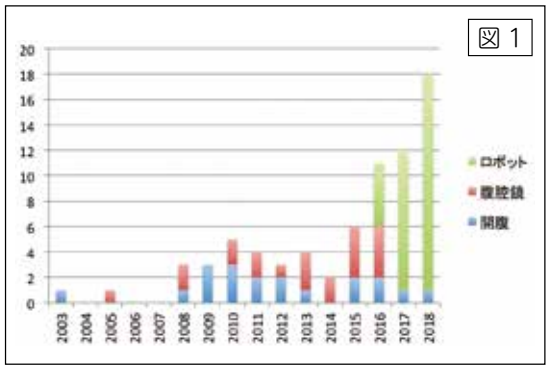


図2

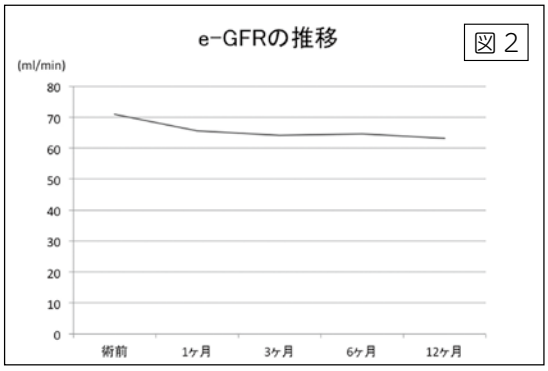
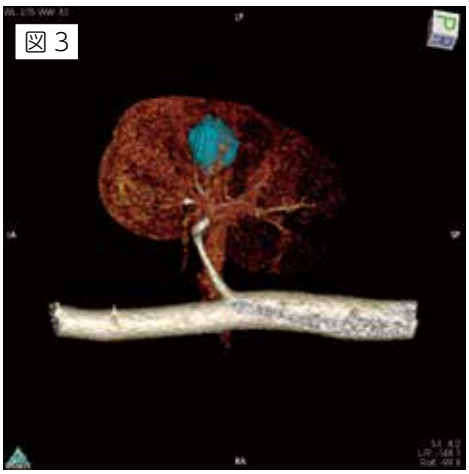


図3



整形外科

整形外科部長　**高山博行**

当科は、旧県立加古川病院時代から当地域における整形外科の中核として高度専門医療を提供してきました。2009年の新築移転後は、最新医療設備も整備され、重症3次救急にも対応可能となりました。骨盤骨折や多発外傷、脊椎脊髄損傷などの重症症例が県内全域からも搬送されるようになり、これら重度外傷の手術症例が非常に多くなっております。また、ここ数年は2次救急外傷も積極的に受け入れており、整形外科全体の手術件数は1600件を超え、県内屈指の規模となりました。

慢性疾患・2次救急

以前より地域の医療機関の皆様から多くの初診紹介を頂いてきました。さらにここ数年は2次救急外傷も積極的に受け入れを拡大しており、外傷手術件数は昨年、一昨年と続けて600件を超え、以前より飛躍的に増加しています。

重症3次救急

重度外傷では、合併臓器損傷により全身状態が不良な場合も多く、救急科など多くの科と連携、協力しながら治療にあたっております。脊椎損傷では緊急で脊椎固定術を施行しますが、頚椎の椎弓根スクリュー挿入などの危険度、難易度の高い手術に際してはナビゲーションシステムを導入しています。

関節疾患・リウマチ膠原病センター

関節疾患も症例毎に適応を決めて、多くの手術治療（関節鏡手術、関節周囲骨切術、人工関節など）を行なっております。また、2016年度に「リウマチ膠原病センター」が開設され、関節リウマチによる関節の変形、痛み、機能障害に対する手術も増加しています。

脊椎外科センター

昨年度より「脊椎外科センター」が開設され、昨年度の手術件数も340件と過去最高となりました。手術は最新の機器、手技を導入し、できるだけ低侵襲を目指しております。

骨粗鬆症センター

社会の高齢化により骨粗鬆症患者が急増しており、骨粗鬆症の治療にも力を入れています。2016年度に「東播磨骨粗鬆症地域連携ネットワーク」を立ち上げ、さらに本年度「骨粗鬆症センター」を開設しました。骨粗鬆症治療は生涯にわたる継続が必須であり、生活指導、受診案内も含めた包括的な治療を地域全体で充実させることを目指しております。

当院は急性期DPC病院であり、入院に関しては手術症例が優先となることをご理解お願い申し上げます。外来も、状態が落ち着けばフォローをお願いすることもありますが、何卒ご協力お願い申し上げます。

県立加古川医療センター外来診療表

令和元年７月１日（月）～

			月	火	水	木	金
総合内科	初診		石田	大北	日野	渡辺	中村
消化器内科	1診		垢本(さかもと)	【尹(ゆん)】	廣畑(午前)	【尹(ゆん)】	垢本(さかもと)
	2診		廣畑	岡田	【担当医】	廣畑	戎谷(えびすたに)
	3診					草野	岡田
循環器内科	1診		福田(午前)	園田(午前)	岩田	片嶋	岩田
	2診		【禁煙】			【ペースメーカー】	
脳神経内科	1診	午前	木村	関			辻
		午後		木村	木村		木村
糖尿病・内分泌内科	1診		飯田	日野	飯田	石田	日野
	2診			【立花】			
緩和ケア内科	入棟面談		担当医		担当医		担当医
	サポーティブケア外来（緩和ケア外来）		田中	担当医	田中	担当医	田中
生活習慣病			【尹(ゆん)】肝炎	【戎谷(えびすたに)】糖尿病・肥満	【大西】糖尿病・肥満	【石井】糖尿病・肥満	
			【福田】禁煙	装具外来（隔週：毎月第2、4火午前）			
リウマチ科	1診		田中	田中	田中	田中	担当医1
	2診		塩澤	塩澤	塩澤	塩澤	担当医2
	3診		村田	吉原	吉原	吉原	担当医3
	4診		中川	【上藤】	村田	村田	中川
腎臓内科	1診	午後		加藤		加藤(1,3,5週)【北浦(2,4週)】	
外科・消化器外科	1診		高瀬	衣笠	小林		高瀬
	2診		多田羅(たたら)	川嶋	門馬(もんま)		【衣笠】
心臓血管外科	1診			担当医			担当医
脳神経外科	1診		担当医	森下	森下	担当医	相原
	2診			荒井	山川		担当医
乳腺外科	1診		石川	石川		石川	
	2診		担当医	担当医		担当医	
整形外科	初診1診		原田	中川	高山	青木	中川
	初診2診		岸本		市村	西原	
	再診1診		【青木】	【上藤(午前)】	原田	【高山】	【担当医(午前)】
	骨粗鬆症	午後	【岸本】		【市村】		
形成外科	1診		櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	2診		北川		北川	北川	北川
	3診		【北野】		【谷口】	【北野】	【谷口】
皮膚科	初診／予診		【植村】	【竹内】	【高井】	【八木田】	【植村】
	1診		濱岡	足立	足立	濱岡	足立
	2診		八木田	植村	竹内	竹内	八木田
泌尿器科	1診		丸山	大場	田中	丸山	田中
	2診			担当医			大場
眼科	1診	午前		薄木	【薄木】	【薄木】【コンタクト(隔週)】	薄木
		午後	薄木				
	2診		徳川	徳川	徳川		
	3診		【秋田(午前)】	秋田	秋田		
リハビリテーション科	スポーツ整形	午後	【柳田】				
放射線科	IVR		担当医		担当医		担当医
	治療初診		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	治療再診		【佐々木】		【川口】		【久島】

予約受付時間（拡大しました）　平日 9：00 ～ 18：30　土曜日 9：00 ～ 11：30（祝日除く）

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
※【　】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。
※リハビリテーション科・スポーツ整形は、主に学生アスリートの方を対象とさせていただいています。

お願い　患者さんの待ち時間短縮のため、FAX またはインターネットで初診予約をお取り下さい。